

要介護の主要要因に応じた対策を強化

➤ 認知症の対策強化

要介護要因
第1位

■ 認知症対策 33百万円

認知症予防推進事業

令和6年度に、座学や運動、知的活動を組み合わせた「認知症予防プログラム」を開発

★多くの県民に体験していただくため、市町介護予防教室等への管理栄養士、理学療法士などの専門職の派遣を通じてプログラムの普及を図る

R9年度までに全市町への普及を目指す

1日のプログラム構成(全8回)

座学(30分)	栄養、難聴など
運動(40分)	認知症予防運動
知的(20分)	計算、クイズなど



➤ 生活習慣病(脳血管疾患等)や骨折・転倒の対策強化

■ 生活習慣・健康状態見える化事業 12百万円

要介護要因
第2・3位

・市町や企業等に貸出す野菜摂取量や骨密度の見える化測定器の台数増(2→5台)

★☆☆香川県総合健診協会がイオンモール高松に新たに設置する「かがわ健診プラザ」において、健診の流れに組み込む形で見える化測定の実施や、県内ブロックごとに人の集まる場に出向いての巡回測定会の開催(年16回想定)

★☆☆市町での取組支援強化 7百万円

市町支援事業等

・骨折等の予防を推進するため、特定健診などの必須の健診に加え、骨粗しょう症検診の導入を支援

①在宅保健師等による人的支援 ②有識者による保健指導等に係る技術的支援

R6年度4市町
→R9年度全市町導入を目指す

➤ 健康行動への変容・定着を促す仕掛けづくりの検討

社会学や行動学の専門家である「健康づくり政策推進アドバイザー」等を通して、運動や栄養に関する行動変容・定着を促す地域に応じた取組みや普及の仕方を検討

健康を保つための三要素

- ① 適度な「運動」
世代にあわせた効果的なウォーキングの普及
- ② バランスの取れた「栄養・食生活」
推奨メニューの開発
- ③ 疲労回復のための「休養」



坂出市:乳幼児健診での測定



スーパー等での測定キャンペーン

➤ その他 健康づくり事業

- 健康づくり政策推進アドバイザー事業 9百万円
- 禁煙・受動喫煙対策推進事業 1百万円
- 歯周病早期発見支援事業 2百万円

- がん対策・検診受診率向上 21百万円
- 小児生活習慣改善事業 17百万円

など